

或る老人のひとり言

若い世代への遺言



まえがき

なぜ世界では争いが続くのだろうか。ピラミット型の社会体制が争いを少なくする一番の方策であるのではないかと思うが。

いよいよ十八歳から成人扱いとなるようで、これからの世の中の一人としてどうゆう風に生きていくのか、この地球というところで人類はどう生きていくのがいいか、結論がでないことを探し求める若い人に読んでもらえらることを願っています。

こういう本を書こうと思うようになったのは以前の事であったが、ここ数年の著しい社会情勢の変化でのびのびとなっていた。この度今までの悪行を戒められて、いざれ入院となり、余命いくばくもないかもしれないのでパソコンに向かうことになった。しかし本人は本というものをあまり読んだことがないし、うまく漢字や言葉を使うことが出来ないのです、言い回しや表現不足のところが多いと思います。ひとり言に違う解釈を持たれることが多々あると思いますが、馬鹿が何を言っているだと思いがら読んでいただければ幸いと存じます。

言論の自由と言いますが、殆どの人は本音を言えないし言わない。本音を言った人が死後に称えられることがよくある。よく自由平等というが、自由というものは人間関係では一番格差を作り出す元になっていのではないか。また平等とは格差社会を否定するようなもので、人間の存在を認めないということでもあるのではないか。

争いそもそも人類の誕生からすでに始まっていることだが、過ぎ去ったことは取り返しがつかないから、ここ昨今のいろいろな事項について考え、これから生きていく若い人々への私のひとり言です。

さて、この本を読んだとしたら、大体半分の方はそうであると思ひ、半分の方は間違っていると思ひましょう。世の中の事は全てが相対的なものであり、絶対的なものは無いということが絶対であるからと思ひます。私は中学生のころに物事について「なぜ」と考えていくと、いろいろな事柄は天文学にぶつかり、最後は宇宙の問題にぶつかってしまったことがあります。なにかアインシュタインみたいだが、私の相対性理論となるような気がします。

作 あんぼんたん

目次

まえがき	3
第一章 それはオリンピッククから始まった格差	11
能力差	13
金融	14
欲望	15
ノーベル賞	16
ランク	17
スポーツ	18
学歴	20
生活保護	21
税金	23

第二章 それは女性参政権から始まった〜少子化……………

人類……………28

仕事……………30

結婚……………33

家庭……………36

相続……………38

第三章 それはテレビジョンから始まった〜動乱……………41

情報……………43

視聴率……………44

世論調査……………46

選挙……………47

ストレス……………48

タレント……………49

サスペンス……………51

コメンテーター	52
食と医療	53
第四章 それはコンピューターから始まった〜テロ	55
インターネット	57
サイバネティクス	59
SNS	60
動画	62
IOT	63
革命	64
難民	65
第五章 それは人が人間になりすぎたことから始まった〜対立	69
意見	70
政治	71

バラムキ	74
子孫	75
乗り物	78
GDP	80
主義	81
核	82
第六章 それはCO ₂ から始まった破滅	85
温暖化	87
自然環境	88
災害	89
細菌	91
第七章 それはピラミッド型の社会体制がベストである安定	93
大国	95

資源	96
おこぼれ	97
将来	98
人類皆兄弟	99
第八章 あとがき／本音	101
付け	103
終わり	104